

誰よ
君が
好きなの
に

成人向



誰よりも
好きなのに
君が

蓮二はきれいだ

その見目の美しさは
年を重ねることに
増してるように思えた

そして俺は自分が
同性にこのような感情を
抱くとは夢にも
思っていなかつた

来週の練習試合に
ついて話したい
ことがある

蓮二

これが合図

帰りに家へ
寄つても
いいだろうか

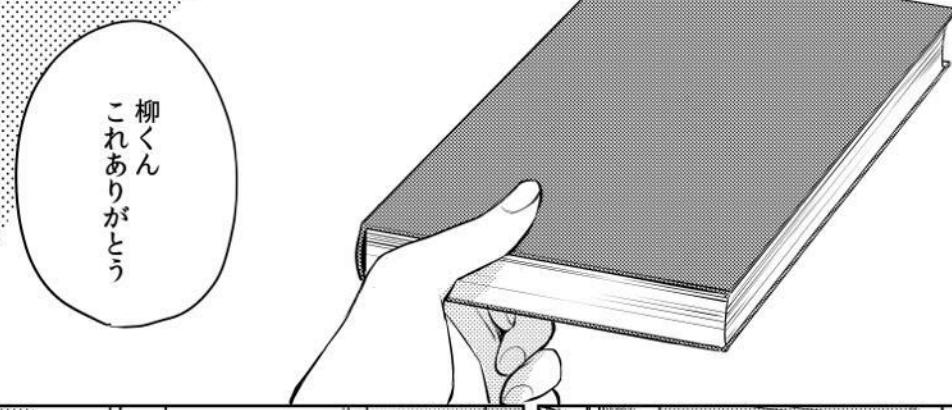
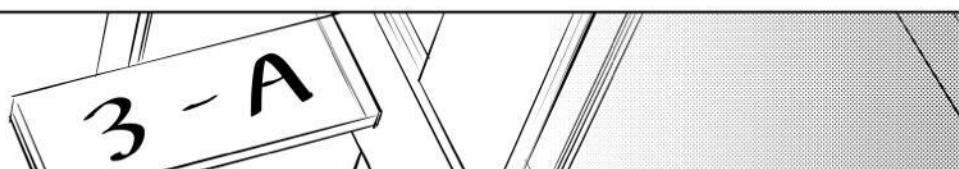
ああ勿論だ

蓮二のきれいな指が
俺に触れる











話してみたら
とっても優しいしさ

彼女とか
居るのかなあ

柳くんの
恋人になる人つて
どんな人だろうね

同じくらい頭よくて
：あつもしかしたら
年上とかじやない？

見柳くん
ようえでいが
ねた

せきの顔色

じゃないと
とてもじゃないけど
つり合わないってー

…そうだな

俺もそ
うだ

蓮二が特別
男が好きという
わけではないことは
知っている





俺は他の者と何ら
違わぬ、
言わばひとつつの通過点で



唯一の存在
ではない

頭ではわかって
いるのに

それでも俺は何か
証のような
かもしだいの
かもしだいの



ハハ



ア
ア
ア
ア



ア

蓮二：傘は持つて
いるか？

校舎に置き傘はあるが
これでは
取りに行くまでに
びしょ濡れだな

いや…

なに
しばらくすれば
止むだろう

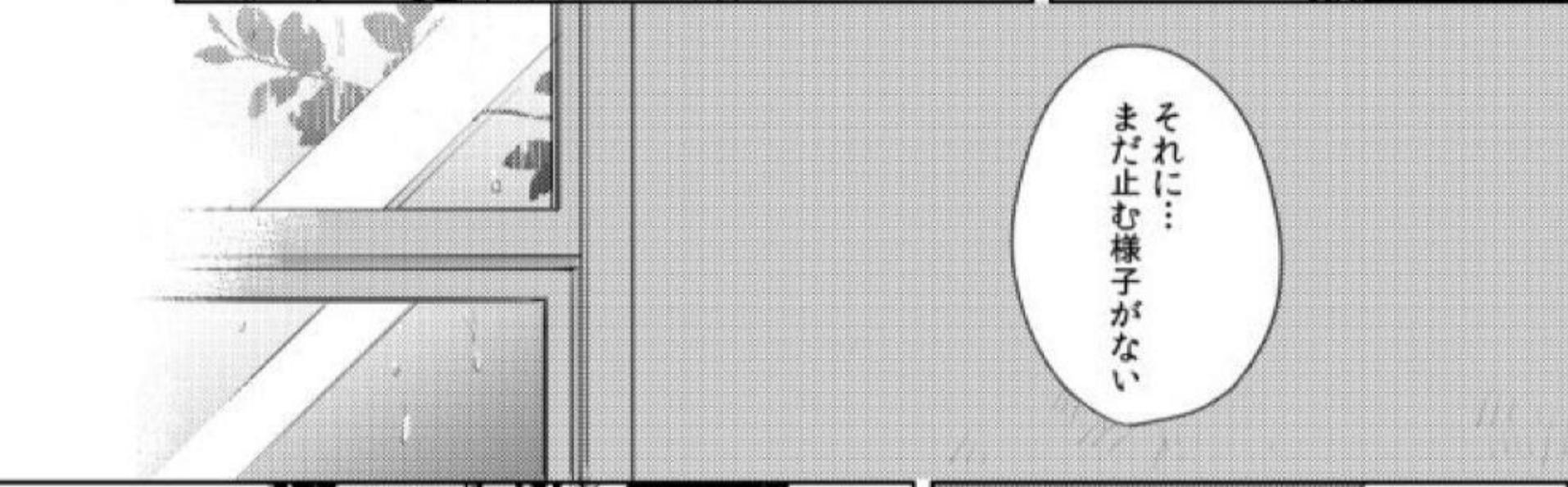
待てばいい

ふたりで

この程度で胸が
騒がしくなるから
手に負えない

そうだな





何だ?

お前はデータで
測りきれないものが
あると言つていたな

そうだな

ならば
それをどうやって
受け入れているのだ

目に見えない
ものを信じ
続けるというの

なかなか
容易ではないと…

ー母だ

すまない、
少し出ても
いいか?





・弦一郎？

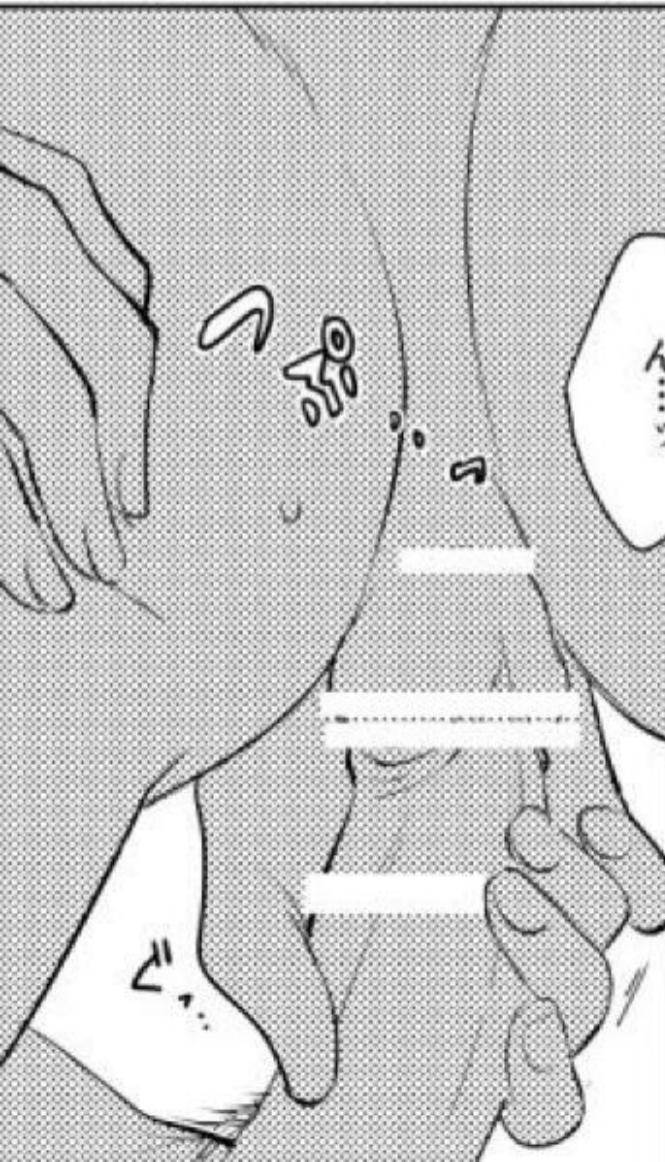


俺は
今すぐ蓮二が
ほしいと思つた

体を重ねている間は
信じることが出来る











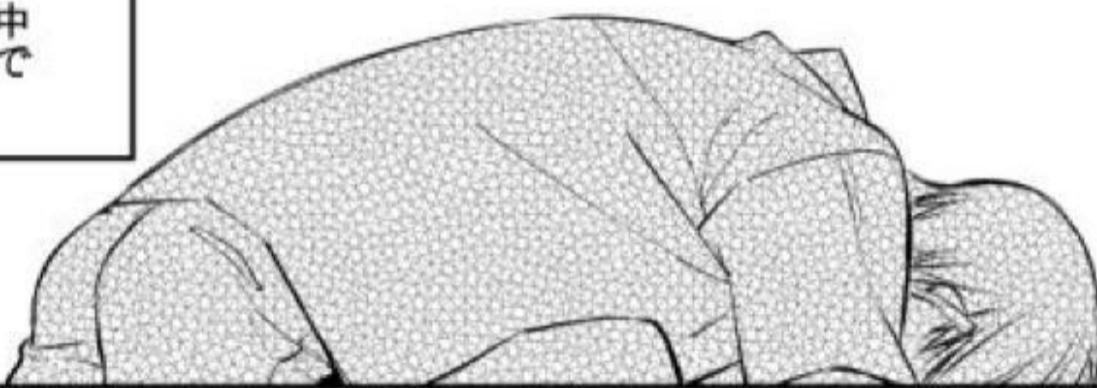




それはもう
どうしようも
ないほどに

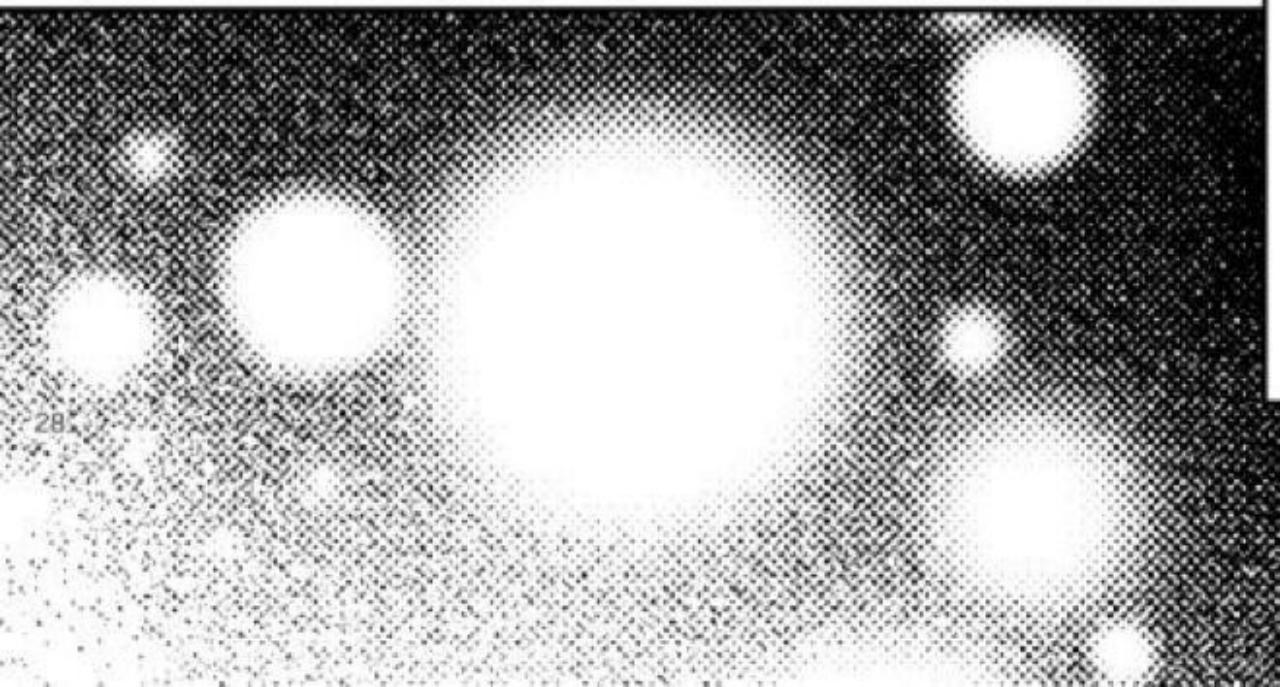


かすむ意識の中で
蓮二が何かを
言つた気がした



俺はただこのぬくもりを
手放したくなくて

すがるように
蓮二の名を
呼びつけた



目にみえない
ものを信じる
か



必死なのは俺の方
なのだがな

お前を試すようなこと
ばかりして

引き止めて
おく術
ばかり探している





俺は
臆病なだけだ



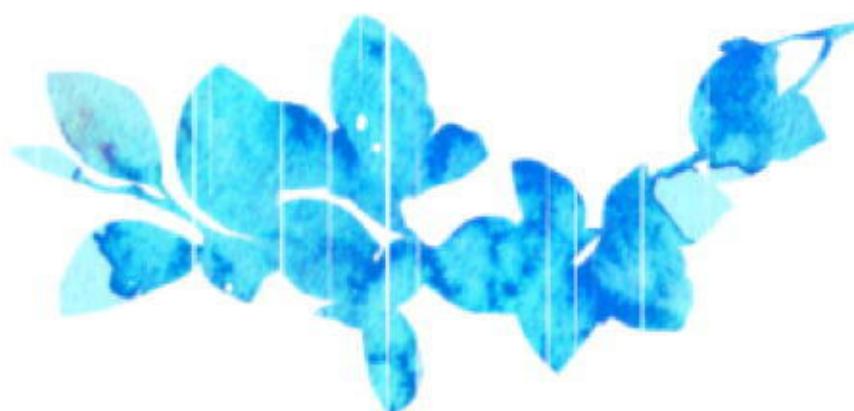
止んだようだ、
弦一郎

誰よりも君が好きなのに

The Prince of Tennis.FanBook#16
Yanagi × Sanada

2014/08/16 crescent(亘理肖悟)

本書のネットオークションへの出品はご遠慮頂きますようお願いいたします。



誰よりも君が好きなのに 2014.08.16